

<その他、取組に特徴のある事例>

○花に包まれた集落目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県北宇和郡鬼北町 畔屋			
協定面積 9.1ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻			
交付金額 191万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	景観作物の種まき		3%
		除草作業		5%
		防草シート設置		36%
		水路整備		3%
役員会他		3%		
協定参加者	農業者 21人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

畔屋集落は、鬼北町の北東部の標高約 200mに位置する典型的な中山間地域で、著しい過疎・高齢化に伴い、耕作放棄地拡大の懸念が大きくなっていたが、中山間地域等直接支払制度の第1期、第2期対策の取組みを行ったことにより、耕作放棄地の拡大を防ぎ、景観の保全にも努めることができた。

また、昔からの『組』付き合いがあり、集落ぐるみによる体制整備が図りやすいと考えられたため、第3期対策から新設されたC要件を選択し、サポート体制の取り決めを行い、高齢者でも安心して農業生産活動に従事することができる集落協定を締結することができた。

3. 取組の内容

当集落では、法面・農道・水路の管理はもとより、景観に力を入れている。花の種をまくことだけでなく、法面を防草シートで覆うことにより、雑草を抑制している。役員の方は、集落を花でいっぱいになりたいという考えをもっている。



【協定内を囲む有害鳥獣防護柵（トタン）・
雑草を抑制する防草シート】



【菜の花いっぱいの田】

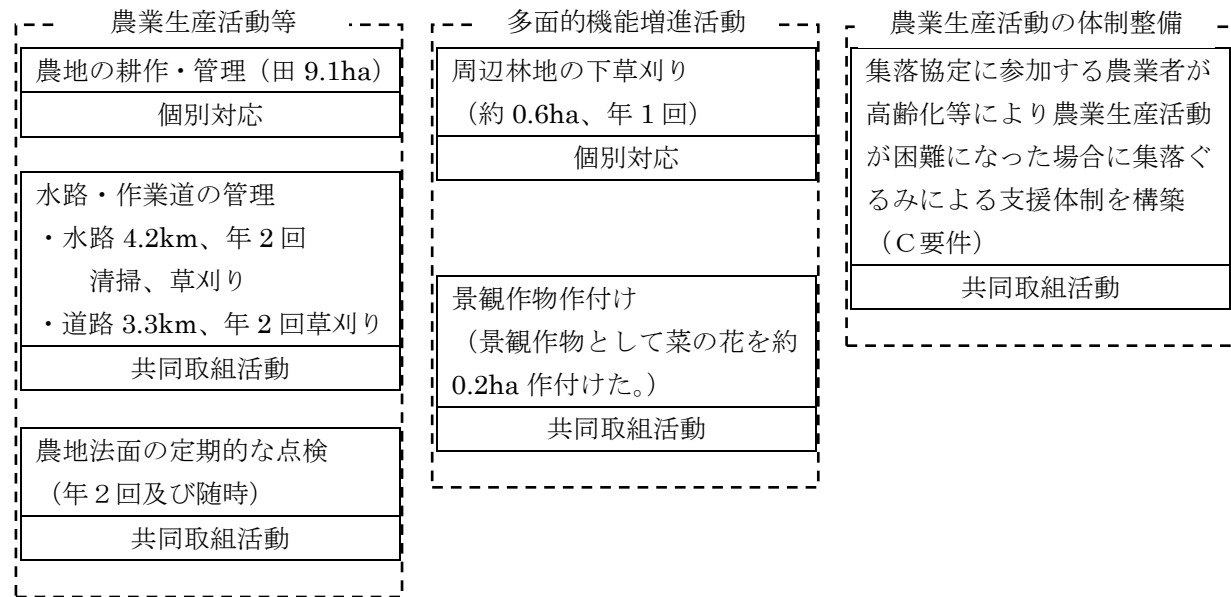
【集落の将来像】

○ 田が休んでいる時なども、景観を良くするために菜の花などの種をまき、集落全体を花でいっぱいになりたい。



【将来像を実現するための活動目標】

○ 防草シート等による農地法面の雑草抑制管理や、水路・農道等の補修・改良を行うとともに、景観作物（菜の花等）の作付けを積極的に行う。



集落外との連携

○ 猟友会と連携した有害鳥獣の駆除

4. 今後の課題等

参加者に事業参加への意識差が出始めている。協定締結時から 5 年間の継続や共同活動内容の取り決めについては課題になっている。

また、一部で考えに相違が出始め活動の計画が困難になっている。

【第 2 期対策の主な成果】

有害鳥獣の対策として、集落全体をトタンで囲う等を行い、効果が出ている。

防草シートの取り付けに関しても、かなりの効果があり、今後も増やしていく予定である。